

取扱説明書

受信機専用周波数コンバーター

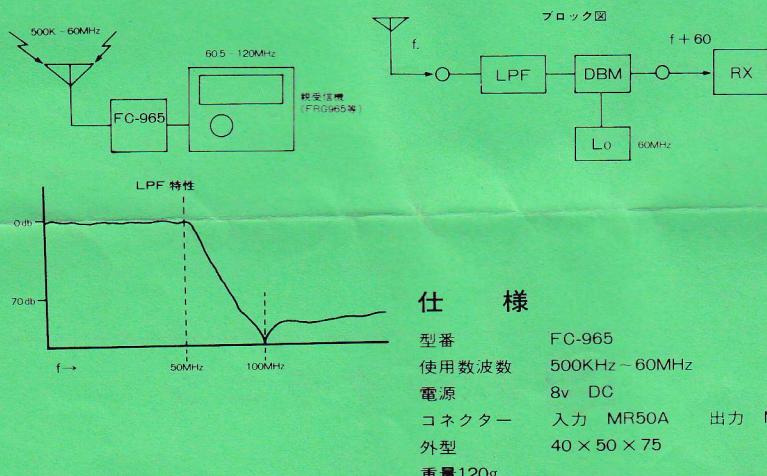
model FC-965

この度は弊社製品 FC-965 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本器は厳重な品質管理のもとに製造されておりますが、取扱いを誤ると本器の
性能を充分に発揮出来ませんので、御使用に際しては本取扱説明書をよく読ん
でから御使用下さい。

概要

情報化社会の発達にともない、いろいろな受信機が発売されていますが、これ
等の受信機では、BC バンドや HF 帯が受信出来ないものが多くあります。
(たとえば FRG-965 では 60MHz 以下 AR-2001 AR-2002 では 25MHz 以下)
これらの多機能高級型受信機を親受信機として利用し、0~60MHz を 60~120
MHz に変換して受信するためのコンバータです。
BC バンド、ハムの HF バンド、短波帯放送バンド、CB バンド、その他の 500
KHz ~ 60MHz の無線バンドの受信にご利用ください。

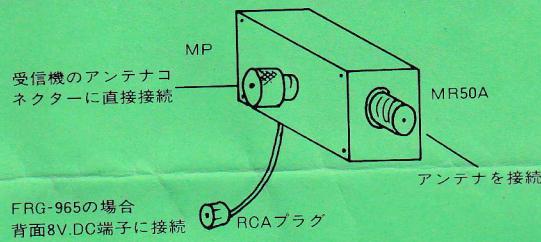
参考図



使用方法

本器は特にFRG-965(ヤエス)には簡単に取付け使用出来る様になっています。

下図の指示の通り接続して下さい。



FRG-965以外の受信機の場合は芯線^赤+8V~12Vを接続します(黒マイナス)。消費電流25mA以内です。

本器を接続しましたら、ダイヤル表示のマイナス60MHzの電波が受信されますのでダイヤル表示から60MHzを引算した周波数が受信周波数です。たとえば、FRG-965(ヤエス)に本器を接続してTBSラジオ(954KHz)受信する時は、ダイヤル表示は60.954.0となります。又7MHzを受信するには7,000~7,100KHzが67,000~67,100KHzに変換され、受信できます。

例	ダイヤル表示	—	60MHz	=	受信周波数	
	60.954	—	60,000	=	954KHz	TBS ラジオ
	67,000	—	60,000	=	7,000	
	65,000	—	60,000	=	5,000	5MHz JJY
	81,000	—	60,000	=	21,000	

使用上の注意

都市地区ではテレビ、ラジオ、ポケットベル、業務用無線、FMラジオ、マイクロ回線等、数10KW~100KWの大電力送信の電波が空間にあふれて居ります。これ等のため、目的以外の信号や放送が受信されることがあります(大電力局の素通りや混変調入力、イメージ受信など)これは本器の不良ではありません。又、本器を使用中、そのアンテナのそばで大電力の送信をされると、異なるバンドであっても、本器に過大入力となり破損することがありますので、本器の使用中の送信は御注意下さい。



株式会社 クラニシ

本社 東京都目黒区中目黒1-10-24 共栄ビル 電話 03-793-3311 〒153
大阪営業所 大阪市淀川区木川東 1-1-22 淀川エリーハイツビル 電話 06-305-0151 〒532